

自己紹介で一人一人が抱負を述べた



農業の担い手として出発

◆◆新就農者激励会◆◆

これからの農業の担い手、そして、地域のリーダーとして出発する青年を励まそうと、五月二十九日、市内のレストランで「新就農者激励会」が開かれました。

この激励会は、農家の後継者で組織している「南国4日クラブ連絡協議会」が主催し、毎年

開かれているもので、当日は二十歳から二十六歳までの新就農者七人をはじめ関係者ら約三十人が出席。

まず、市4日クラブの岡雅司会長が「今年は国際青年年です。若い力を結集して地域社会の発展に頑張っていきたい」とあいさつ。続いて、溝渕市農業委員長、

きまつりは一日中盛り上がりつていました。

大盛況「さつきまつり」

近永日曜市コーナーも 《土曜市》

土曜日恒例の「さつきまつり」が五月二十五日に開かれ、朝から主婦やお年寄りなど大勢の人でにぎわいました。会場では、さつきの展示と品評やヨモギのもちつき、チャリティーオークション、さつきの苗木無料配布など盛りだくさんの催し。また、姉妹市の愛媛県広見町の近永日曜市から約二十人が来高。日曜市コーナーも設けられました。

そして、土曜日から鴨子、近永日曜市から広見蒲頭のレコードがそれぞれに贈られ、市商工会婦人部と一緒によさこい鴨子踊りを踊り交歓するなど、さつ



見事なさつきを見入る買い物客

水の事故から守って

夏を告げるエンコウ祭り



水の事故から守ってと祈る子供たち

「エンコウ様水の事故から守って」と祈る「エンコウ祭り」が六月一日、前浜や久枝の後川、秋田川に架かる橋のたもとで行われ、楽しい祭りに子供たちの歓声が沸いていました。

子供たちは、お社に手を合わせ「水の事故から守って下さいエンコウ様」と祈ります。夕暮れ時、ちようちんに灯が入り、近所の人たちが家族連れでお参りに来るころは、まさにお祭りは本番。ダンボール箱にどつきり用意した花火に、次々に火をつけると「ピュッ、パン、パン」と、あちこちから威勢のよい音が響き、子供たちは歓声をあげて、はしゃぎまわっていました。

岡崎市営農改善会副会長、西森南国農業改良普及所長らがそれぞれ励ましの言葉を贈りました。そして、新就農者七人が自己紹介し、これからの農業への取り組みについて力強く抱負を述べた後、市4日クラブから一人一人に記念品が手渡され、全員で門出を祝いました。